

男子ホッケーU21日本代表チーム マレーシア遠征

日付	2015年2月17日 9:30~10:15		
場所	マレーシアクアラルンプール	天候	晴れ
試合	第5戦	通算結果	日本 4勝1分

RESULT

Country

日本
U21

Final

4 - 3

Third Period

2 - 2

Half-time

2 - 1

First Period

1 - 0

Country

エジプト
シニア

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	2	青山力也(東農大)			
✓	3	川村敬亮(明治大)			
8	4	内藤 幹(立命大)			
9	5	木下拓弥(立命大)			
✓	6	新井大地(立命大)			
6	7	渡辺晃大(丹生高)			
✓	8	小沢 諒(山学大)			
	9	山崎晃嗣(山学大)			
✓	10	伊藤義一(山学大)			
✓	11	朝倉祐樹(山学大)			
✓	13	福田健太郎(天理大)			
6	14	田中海渡(天理大)			
✓	15	落合大将(天理大)(C)			
8	16	山水翼瑛(天理大)			
✓	17	山田翔太(天理大)			
	18	和久利裕貴(天理大)			
30	1	高橋優成(駿河台大)(GK)			
✓	12	吉川貴史(天理大)(GK)			
✓	19	宮崎俊哉(早稲田大)			
6	20	近藤辰徳(丹生高)			
Coach		坂本 実			
Manager		朱 光珍			
UMPIRE		Norhisham			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	15	A.S.A.Gomas			
✓	16	W.N.Salahekdin(GK)			
✓	23	M.N.Mohamed			
✓	22	M.A..S.Zaki			
13	11	A.A.Abdalla			
✓	6	A.M.A.Lbrahim			
✓	5	E.T.M.Lbrahim			
16	12	M.R.I.Abdalla			
13	10	W.M.AMahmoud(C)			
✓	3	M.M.Abdetaziz			
8	4	K.A.Said			
13	9	A.S.Mohamad			
	1	M.G.Sayed(GK)			
✓	7	M.H.Hamed			
52	13	M.M.Mahamoud			
✓	2	M.E.Abdeimoneim			
6	17	A.M.Eihady			
8	8	M.H.Eisayed			
✓	19	H.A.Abdelmoneim			
✓	18	A.K.Mahmoud			
Coach		Ahmed Zakarin Gadelrad			
Manager		Emad Amin Gawad			
UMPIRE		P.Puvatagan			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	6	宮崎俊哉	PS	1-0
EZP	17	W.M.Amahmoud	PC	1-1
JPN	23	山田翔太	PC	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
EZP	38	M.N.Mohamed	FG	2-2
EZP	51	H.A.Abdelmoneim	PC	2-3
JPN	54	山田翔太	PC	3-3
JPN	59	山田翔太	PC	4-3

今日の一戦は、U21の真価が問われるものである。両国とも同日にマレーシア入りし、練習・試合とかなり疲れがピークに達している状況の中での一戦となった。日本も、マレーシアU21に4戦し3勝1分けと勝ち越しているものの全ての試合がハードであった。エジプトは、リーチも長くパスを回し、組織的なホッケースタイルである。日本としては、色々な国と試合が出来るのは経験を積むうえでも良いチャンスであり、その中でどれくらい力を出せるのかがカギである。マレーシアに来てからの試合は常に夜であったが、午前中の試合は初めてである。試合はクォーター制で実施となった。開始早々、両国とも中盤でのボールの奪い合いが続く、その後、徐々に日本がサークルに入る場面が続いた、エジプトは日本のシュートをバックスティックでボールを止めたためPSを得る。No.19宮崎がゴール左下にストロークし先制する。その後も、日本ペースで進むも第一クォーターが終了する。第二クォーターに入り徐々にエジプトも攻撃を仕掛けてくる。17分PCを与えてしまいフリックでゴール左上段へ突き刺さり、同点となる。日本も、突き放しにばかり23分にPCをNo.17山田が決め再び突き放した。第3クォーターに入り、いつものごとく全体の足が止まり、エジプトペースで試合が進む、38分エジプトが右サイドから攻撃し、センターリングをサークルトップに合わせるもマークがされてなく、リバースヒットでシュートされ再び同点となる。更に第4クォーターに入ると51分エジプトはPCを得て右中段へフリックされたボールがネットに突き刺さり逆転する。日本もここからが、今までの日本とは一味違っている。全員で攻撃を仕掛けてると54分にPCを得る。これをNo.17山田が決め同点とする。更に攻撃を続け59分にもPCを取得し、再びNo.17山田がフリックを決め逆転し終了となった。この試合でNo.17山田はハットトリックを達成した。今回の遠征で当初想定していた課題がひとつずつ解消されて来ているような試合であった。DF陣の守り切れること、攻撃陣の決め切れることがなんとなく達成できたと思われた。今後も、このマレーシア遠征での経験を活かし更に心身ともに向上し2020東京五輪でメダルをとることを希望し、マレーシア遠征5戦し4勝1分け無敗で終了とする。

日本U21		シュート数		エジプトシニア
	8	PC数	2	

掲載責任者 男子U21責任者 坂本 実